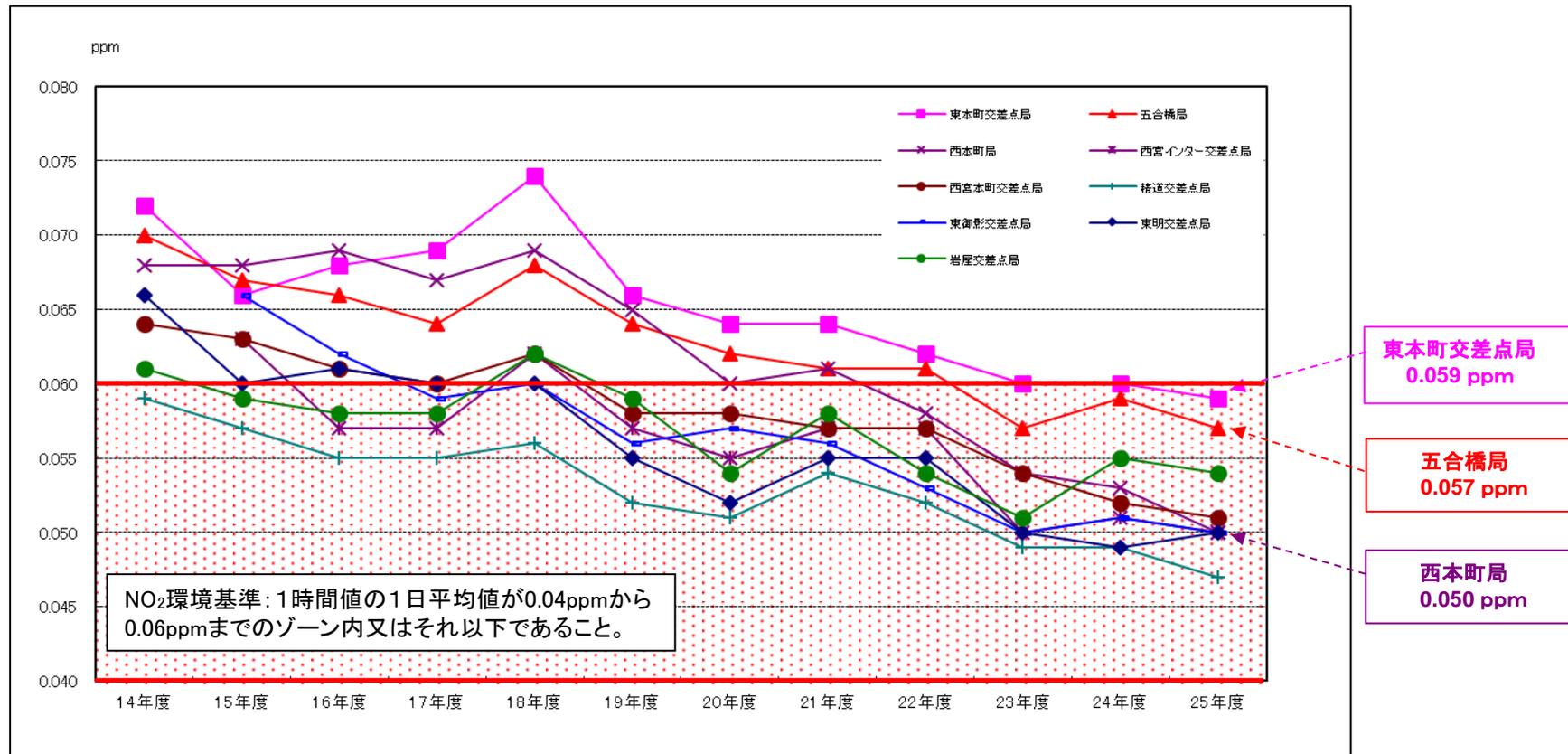


沿道環境の現状(二酸化窒素)

- 二酸化窒素(NO_2)は、平成23年度以降は全箇所環境基準のゾーン内に入っている。
- 平成18年度以降、日平均値の98%値は低下傾向にある。

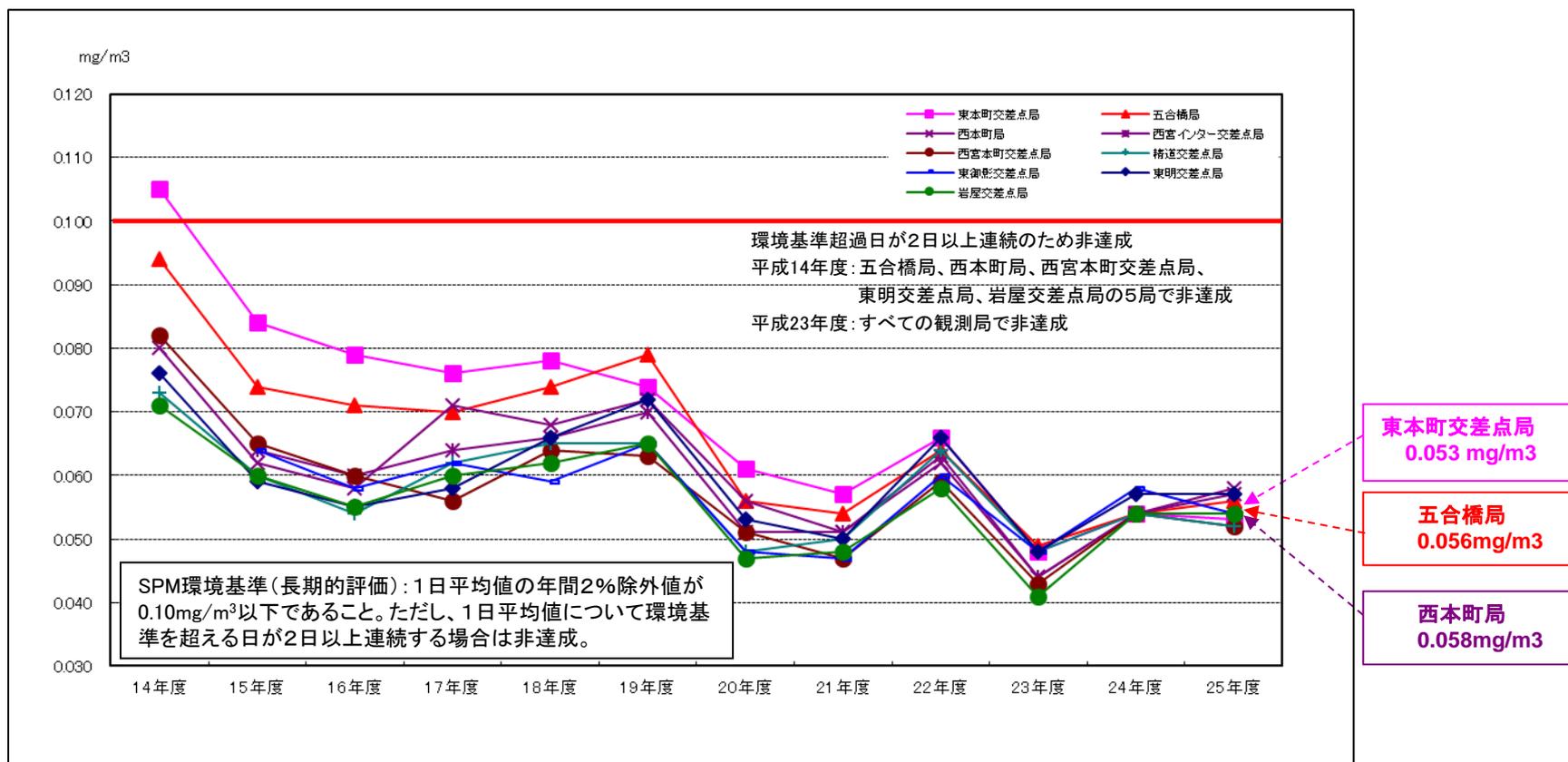
▼国道43号 二酸化窒素(NO_2) 日平均値の年間98%値の経年変化



沿道環境の現状(浮遊粒子状物質)

- ・浮遊粒子状物質(SPM)は、平成24年度以降は全箇所で環境基準値を達成している。
- ・平成25年度の日平均値の2%除外値は、前年度と比べてほぼ横ばいとなっている。

▼国道43号 浮遊粒子状物質(SPM) 日平均値の年間2%除外値の経年変化



国道43号沿道(尼崎市域)の大気質(NO₂)

・平成18年度以降、環境基準値超過日は減少傾向にあり、昨年度の超過日は1～2日であった。

▼尼崎市域の大気質(NO₂)

